

直江津区地域協議会 第4期活動報告

事務局：上越市 総合政策部 地域政策課
北部まちづくりセンター

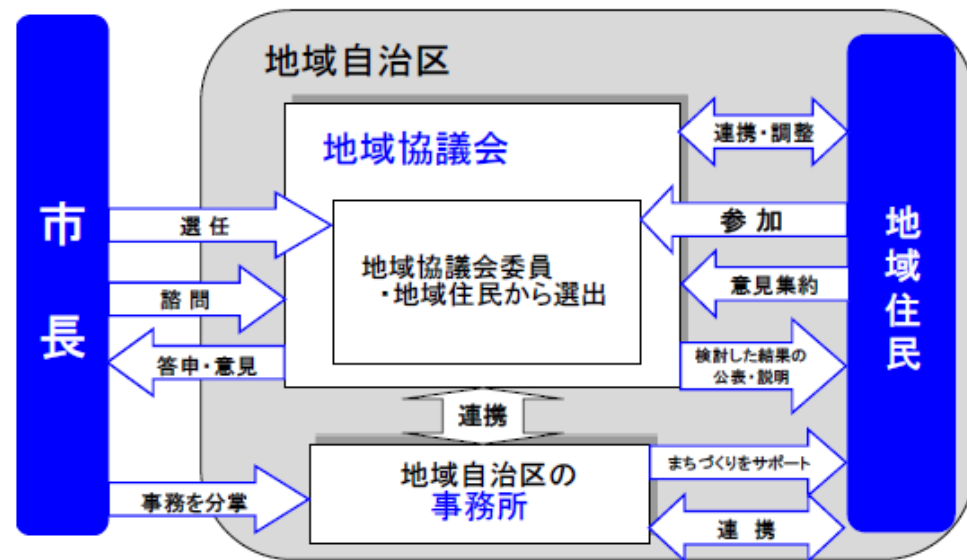
地域協議会について

○上越市の地域自治の仕組み（地域自治区制度）

地域自治区制度は、市内各地域の住民と行政の連携を強化し、地域特性や住民の意志を市政に反映していくための仕組みです。

地域自治区には地域協議会が設けられ、地域の課題解決や活性化策を話し合う場となり、地域団体との連携・調整を行うほか、話し合った結果を市長へ伝えます。事務所は地域協議会の事務や地域のまちづくりを支援します。

<地域自治区のイメージ>



○地域協議会の役割

■地域の課題解決

- ・地域住民との意見交換などを通じて把握した地域の課題について、自らテーマを決めて、より良い解決策を話し合い、地域で活動する団体等へ連携・協力を働き掛け、地域の中で解決に向けた活動を行います。

■市からの諮問に対する答申

- ・市長から意見を求められた案件について話し合い、市長に意見を返します。

(例) 新市建設計画の変更、公の施設の設置・廃止等、市が策定する基本構想等

第4期直江津区地域協議会（任期：令和2年4月29日～令和6年4月28日）

Ⅰ 委員一覧（16名） ※定数は18名

会長

・青山 恭造

（中央5）

副会長

・田中 美佳

（国府2）

副会長

・磯田 一裕

（西本町1）

・今川 芳夫

（西本町1）

・河野 健一

（国府3）

・久保田 幸正

（石橋）

・坂井 芳美

（五智新町）

・竹田 禎広

（港町2）

・田中 実

（西本町3）

・田村 雅春

（石橋）

・中澤 武志

（中央4）

・古澤 悦雄

（中央4）

・増田 和昭

（石橋2）

・丸山 岳人

（西本町3）

・水澤 敏夫

（国府1）

・水島 正人

（港町1）

2 地域協議会の開催状況・・・延べ58回開催

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数	14回	16回	14回	14回（令和6年2月時点）
会場	レインボーセンター 第三会議室または多目的ホール			

3 諮問・答申の状況・・・件数：10件

<令和2年度>

諮問内容	諮問理由	答 申
新上越斎場の設置について	上越斎場の施設、設備の老朽化や将来的な火葬需要の増加に対応するため、新上越斎場を整備することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障がない」として答申（附帯意見なし）
直江津区の小学校の統合について	古城小学校の学習環境の改善に向けて、同校の保護者と意見交換を重ねるとともに、地域住民等の意向を把握するなど検討を行った結果、直江津小学校との統合により複式学級を早期に解消する必要があると判断したことから、当該統合に関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	
なおえつ保育園の廃止について	保育園の再配置等に係る計画に基づき、なおえつ保育園の運営を民間法人に移管するため、公の施設としては令和4年4月1日に廃止することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、地域協議会の意見を求めるもの	

<令和3年度>

諮問内容	諮問理由	答 申
市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について	第4次上越市公の施設の適正配置計画に基づき、温浴施設は民間事業者においても提供されていることから、市民いこいの家の温浴機能を廃止すること及び温浴機能の廃止後は、高齢者の趣味活動の場や地域の皆さんの交流の場等として活用することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障あり」として答申 (理由) 当該施設における温浴機能の廃止及びその後の利活用については、公の施設の適正配置計画を進める中で、民間事業者の整備状況や次世代への負担軽減などの趣旨から諮問された市の方針に理解を示す委員もいたものの、当地域協議会で「地域住民の生活への支障」の有無について採決した結果、同数となり、最終的に会長の決するところにより「地域住民の生活に支障あり」とした。 「地域住民の生活に支障あり」とした理由としては、利便性の面に関して「近くで利用しているので、民間だとバスで行く必要がある」「民間の利用料は高いので、公の施設であるいこいの家の温浴機能を残してほしい」のほか、地域住民への周知の面からは「回覧による周知が2町内会だけである。十分な説明とは言えない」とするもの。

<令和4年度>

諮問内容	諮問理由	答 申
新市建設計画の変更について	新市建設計画に登載した事業で、令和5年度以降に合併特例債の活用が見込まれるものがあることを受け、新市建設計画の変更を行うに当たり、「新市建設計画の変更案」を別紙（資料省略）のとおりとすることについて、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障がない」として答申 （附带意見なし）
市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について	第4次上越市公の施設の適正配置計画に基づき、温浴施設は民間事業者においても提供されていることから、市民いこいの家の温浴機能を廃止すること及び温浴機能の廃止後は、高齢者の趣味活動の場や直江津ふれあい館の機能を移転した作品展示の場、地域の皆さんの交流の場として活用することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障がない」として答申 （附带意見） 温浴機能廃止後の利活用について、趣味活動の利用者だけでなく、広く市民の方が使える施設となるよう配慮すること
上越市庭球コートの廃止について	施設の老朽化が進む中、現在の利用は極めて少なく、今後も利用の増加が見込めないことから、上越市庭球コートを廃止することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障がない」として答申 （附带意見） 土地所有者との協議について、双方が納得する形で進めること

<令和5年度>

諮問内容	諮問理由	答 申
市民いこいの家の利用時間 及び休館日の変更について	温浴機能廃止後の市民いこいの家について、令和6年4月から市民の交流及び高齢者の趣味活動の場として利用することに伴い、利用時間及び休館日を変更することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	「地域住民の生活に支障がない」として答申 (附帯意見なし)
三の輪台いこいの広場の廃止について	施設の利用実態がほぼ無く、近隣に類似施設があることを踏まえ、三の輪台いこいの広場を公の施設として廃止することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	
上越斎場の管理の在り方について	令和6年12月から新たな上越斎場の供用を開始する見込みとなったことから、当該施設の管理の在り方を変更することに関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの	

4 地域活性化の方向性（令和5年7月25日作成）

地域協議会が、地域の活力向上に向けた議論を進めるうえで、特に重視したいこと、大切にしたいことを「地域活性化の方向性」として作成しました。

<キャッチコピー>

人とひとを、人とまちをつなぎ、住み働く人が輝き、
訪れる人を魅了するまち「なおえつ」

<構成要素>

- ① 支え合い、生き生きと暮らせるまち・直江津
- ② 安心安全、快適で開かれたまち・直江津
- ③ 誰もが活躍できるまち・直江津
- ④ 魅力と活力があふれるまち・直江津
- ⑤ 次代を担うひとを育むまち・直江津



5 自主的審議事項 ……3件

① 直江津まちづくり構想について

内 容	取組状況
直江津のまちづくりについて、駅前のにぎわい創出、駅前と商店街の活性化、朝市や歴史的建造物の観光PR、駐車場不足の問題、地域に暮らす人々の生活面の充実など、直江津が抱える様々な課題を総合的に検討するもの	継続審議中

<第4期の審議状況>

- ・町内会長や地域住民と実施した意見交換会での意見等を参考にしながら協議会において課題を抽出（五智公園、福島城、三八市）
- ・現地視察や関係団体等との意見交換を実施
 - 現地視察…令和2年度：五智公園、屋台会館等
 - 令和3年度：福島城資料館、三八市等
 - 意見交換…令和3年度：三八朝市周辺まちづくり協議会
 - 令和4年度：福島城を愛する会
- ・審議の参考とするため、まちなか居住推進事業の取組状況、五智公園整備計画、上越市通年観光計画（案）について、市担当課から説明を受ける
- ・「直江津まちづくり構想」すなわち「地域活性化の方向性」の実現に向けて、構成要素の深掘りや課題解決に向けた審議、具体的な取組に向けた協議等を進めていく

② 消防団のあり方について

内 容	取組状況
消防団員の確保など、消防団活動を維持するにあたっての課題が生じていることから、市の方針について説明を受けるとともに今後の改善策について協議・検討するもの。	審議終了

<第4期の審議状況>

- ・上越市消防団適正配置検討委員会からの提言（平成31年3月）を受けた上越市消防団における対応等について説明を受ける
- ・地元消防団へのアンケートの実施（提言を受けた上越市消防団の対応について等）
- ・アンケート結果に基づく担当課の所見を確認

③ 地域ぐるみの防災活動の推進について

内 容	取組状況
直江津区は津波や水害等のリスクが高い地域であることから、地域防災力の維持・向上のために実効性のある自主防災組織の再構築に向けて協議・検討するもの	継続審議中

<第4期の審議状況>

- ・令和6年能登半島地震の振り返りを行い、地域防災活動に関して委員間で情報共有

6 意見交換会

開催日	内容
令和2年11月10日	直江津地区町内会長協議会との意見交換会 ・地域の課題やまちづくりについて
令和2年12月8日	五智地区町内会長協議会との意見交換会 ・地域の課題やまちづくりについて
令和3年2月27日	直江津のまちづくりを話し合う会(1回目) ・直江津のまちづくりについて
令和3年3月13日	直江津のまちづくりを話し合う会(2回目) ・直江津のまちづくりや地域活動支援事業について
令和4年3月26日	地域活動支援事業募集説明会 ・地域活動支援事業について
令和5年5月27日	地域住民の皆さんとの意見交換会 ・直江津区をどのようなまちにしたいと思うかについて
令和5年8月18日	直江津地区環境整備事業ワーキンググループ 活動団体との意見交換 ・令和6年度地域独自の予算事業について
令和5年8月21日	直江津地区自主防災組織事業ワーキンググループ 活動団体との意見交換 ・令和6年度地域独自の予算事業について



7 委員研修・視察研修

＜委員研修＞

開催日	内容
令和3年12月16日	・上越市立水族博物館うみがたりの実績と今後の取組について (説明:上越市教育委員会教育総務課、上越市立水族博物館うみがたり) ・令和3年大雪災害対応の検証について (説明:上越市防災危機管理部市民安全課、都市整備部都市整備課、道路課雪対策室)
令和6年2月6日	・新潟労災病院の医療機能再編について (説明:上越市健康福祉部地域医療推進課)

＜視察研修＞

自主的審議における協議の参考とするとともに地域協議会委員活動の充実を図るため、直江津区内の施設などの視察を行いました。

開催日	視察先
令和2年10月26日	五智公園、三の輪台いこいの広場、直江津屋台会館、市民いこいの家
令和3年10月23日	福島城資料館、三八市、ライオン像のある館



8 地域協議会だよりの発行

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行回数	5回 (第62～66号)	5回 (第67～71号)	3回 (第72～74号)	4回(令和6年2月時点) (第75～78号)

直江津区地域協議会だより

4期目の地域協議会がスタート

4月に地域協議会の委員改選が行われ、4期目の地域協議会委員18名が選ばれました。5月20日(水)にレインボーセンターで新委員による初の協議会が開かれ、会長・副会長の選任や、今後の地域協議会の運営方針などについて話し合いました。会長には中澤武志さんが、副会長には青山恭造さんと田中美佳さんがそれぞれ選ばれました。今後は、市長からの諮問事項や地域の課題を解決するための協議、地域活動支援事業の審査・採択などについて協議していきます。

直江津区地域協議会 会長 中澤 武志(中央四)

地域協議会委員になって10年経ちます。この間、全国的な課題である人口減少の問題は直江津でも年々深刻化しています。影響の緩和も影響を求め、早急の動きも出てきて少なくなりました。いつか変わってくるかなという不安への課題は増えています。

数年前「まちづくり」について、話し合いを催していますが、何時・誰が・何で、そこで実施しています。直江津には活性化に向けて前向きな有為な人材も、建設的な活動をしている団体も増えてきました。地域協議会もそういう互いに知見を出し合っている関係の構築に少しでも近づければと思っています。

副会長 青山 恭造(中央五)

想いを伝えてください。うみかたの東の屋台会館に市街や直江津市街を観光客を招くために、我々も打てる。オムレツの祭の祭を破らなければ作破り想像を膨らませるにすぐ近いです。

副会長 田中 美佳(国府二)

今回で2期目になりました。地域協議会の事を市民の立場に知っていただき、上越市の事に興味を持っていただけたらに願っています。

直江津区地域協議会だより

令和3年度地域活動支援事業を活用した事

『なおえつ物語』発行事業(団体名:三八朝市周辺)

直江津の偉人・福永十三郎と関わり深い「越ノ海勇風」供した。完成イベントでは、「義人・福永十三郎物語」の紙芝居を、

★地域協議会を開催しました

第15回地域協議会 (2月16日(火) 午後6時30分～)

【報告事項】三の輪台こいの広場に係るサウディング型市民会
【協議事項】令和4年度地域活動支援事業について:直江津区
【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について:三八朝市

第16回地域協議会 (3月15日(火) 午後6時30分～)

【報告事項】三の輪台こいの広場プロポーザルによる利活用
【協議事項】令和4年度地域活動支援事業について:審査スケ
【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について:三八朝市

協議事項は、北部まちづくりセンターや市のホームページ等で公開されています。

★地域の課題解決のために、地域協議会で話し合ってください。

北部まちづくりセンターまでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ

北部まちづくりセンター 上越市中央1-16-1 上越市レインボーセンター内
TEL: 631-1337 FAX: 631-1338 メール:hokubu-machi@city.joetsu.jp

直江津区地域協議会だより

令和4年度地域活動支援事業の採択事業を決定し

直江津区を元気に、にぎやかにする事業採択を募集したところ、13件の採択が寄せられ、12件の採択事業の採択が決定しました。

採択事業

採. 事業名【団体名】	内 容【実施日時等】
1 クリーンナップ上越 in 五智事業【ひまわり会】	地産物における環境美化のため、各種園芸を育て、ひまわり、スイセン、コスモスなど各花壇を整え、看板設置、草刈りなどを実施
2 五智公園の整備、有効活用支援事業【五智公園を育てる会】	五智公園の動物の保護・育成、動物の飼育、リーフレットなどの作成、季節の祭、園地や林床の整備などを行う。
3 上越市「地域の宝」北前船がはこんだものガイドマップ改訂事業【まちおこし直江津】	「地域の宝」に認定された「北前船がはこんだもの」をテーマに、市内観光地を巡り、まち歩きや地域学習の場などを設ける。
4 マタニティー・子育て支援事業【特定非営利活動法人あまのり】	妊婦・出産・育児世代を支える参加型の活動を実施。直江津地区で子育てを支援する。直江津地区で子育てを支援する。直江津地区で子育てを支援する。
5 「直江津写真フェア」事業【上越市写真会】	「直江津写真フェア」を開催。直江津の魅力を写真で表現し、市民の理解を深める。直江津の魅力を写真で表現し、市民の理解を深める。
6 「なおえつ うみかたアート2022」事業【上越市写真会】	「なおえつ うみかたアート2022」を開催。直江津の魅力をアートで表現し、市民の理解を深める。直江津の魅力をアートで表現し、市民の理解を深める。
7 えちご・ひまわり100周年マラソン【上越市写真会】	ランナーを応援する。直江津の魅力をマラソンで表現し、市民の理解を深める。直江津の魅力をマラソンで表現し、市民の理解を深める。
8 天王川クリーンナップ大作戦【直江津市市民会】	天王川の環境美化。直江津の魅力をマラソンで表現し、市民の理解を深める。直江津の魅力をマラソンで表現し、市民の理解を深める。

直江津区地域協議会だより

意見交換会を開催しました

5月27日(土)に、レインボーセンターで住民の皆さんとの意見交換会を開催しました。町内や活動団体の皆さんから多数ご参加いただき、4班に分かれて「直江津区をどのようなまちにしたいか」というテーマについて話し合いました。いただいたご意見は、「地域活性化の方向性」検討などの参考にさせていただきます。

★地域協議会を開催しました

第1回地域協議会 (4月12日(水) 午後6時30分～ レインボーセンター)

【協議事項1】地域活性化の方向性について:意見交換会の日程、内容等を協議
【協議事項2】自主的審議事項について:委員からの提案を受け、今後の進め方を協議

第2回地域協議会 (5月6日(火) 午後5時～ レインボーセンター)

【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について
【報告事項】市民会館の家の利活用について
【協議事項】市民会館の家の利活用について:市民会館の家の利活用について
【協議事項】市民会館の家の利活用について:市民会館の家の利活用について

★地域の課題解決のために、地域協議会で話し合ってください。

北部まちづくりセンターまでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ

北部まちづくりセンター 上越市中央1-16-1 上越市レインボーセンター内
TEL: 631-1337 FAX: 631-1338 メール:hokubu-machi@city.joetsu.jp

9 地域活動支援事業（令和2年度～令和4年度）

直江津区 地域活動支援事業採択方針

・直江津区住民の生活環境の向上に資する事業のほか、交通の要衝、結節点である直江津区の活性化につながる事業、歴史と文化あふれる直江津区の観光資源を活かす事業とし、事業実施による効果が期待できる事業でソフト事業を優先的に採択する。

優先的に採択する事業の分野

○地域振興に資する事業

（例）まちの活性化、各種団体との連携、文化・歴史・観光資源の活用、港や海を活かした事業 等

○生活環境の向上に資する事業

（例）不法投棄対策、美化活動、循環バスの運行 等

○人にやさしいまちづくりに資する事業

（例）歩いて暮らせるまち、住民交流の場の充実、健康増進、介護、認知症予防 等

○住民の生涯学習に関する事業

（例）講演会、講習会、各種講座 等

○安全安心なまちづくりに資する事業

（例）防災・防犯対策、住民の見守り、通学路の安全確保 等

○教育文化に資する事業

（例）教育環境の充実、子育て支援 等

○その他

上記に属さないが、直江津区の住みよさにつながる事業で、地域活動支援事業の目的に沿った事業

直江津区地域協議会活動報告

地域活動支援事業において採択した事業

<令和2年度>（配分額:9,700千円）

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
1	クリーンナップ上越in五智事業 (ひまわり會)	528千円	海岸線の環境美化のため、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセン、コスモスなどの花苗を植え、草刈り、清掃などを実施する。
2	五智公園の整備、有効活用支援事業 (五智公園を育てる会)	387千円	五智公園の環境保全を行い魅力を高めることを目的に、植物の保護・育成、動植物紹介パネルの展示、湿地や林床の整備等を行う。
3	直江津地区高齢者いきいき支援事業 (直江津地区町内会長協議会)	660千円	町内会館等を会場に、ニュースポーツのスカットボールを楽しみ、高齢者の健康維持と子どもたちの健全育成、世代間交流を図る。
4	直江津駅前環境美化推進事業 (我がまちを愛する会)	73千円	直江津駅北側に季節の花を植えたプランターを設置し、毎日の水やり等の管理を行い、明るさと癒しを提供する。
5	米作り体験事業 (新光町3丁目町内会米作り体験実行委員会)	128千円	地域の子どもたちに自然のサイクルを学んでもらうため、米作り体験を実施し、収穫した米を使った「餅つき」等を行う。
6	天王川クリーンナップ大作戦事業 (ライオン像の建物をまちづくりに活かす会)	132千円	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を目的に、直江津の重要な水辺空間である天王川周辺の清掃作業を地域住民全体で行う。
7	「直江津写真フェア」事業 (上越写真連盟)	490千円	「撮って発見直江津の魅力」をテーマに、直江津の魅力を再発見・発信することを目的とし、写真コンテストを開催し作品展示を行う。
8	鉄道の町「直江津」発信事業 (直江津鉄道振興会)	210千円	直江津が鉄道のまちであることを再確認し、次の世代に語り継いでいく機会とするため、交通の要衝「直江津」について講演会を行う。
9	直江津アートプロジェクト事業 (くらしの美術館実行委員会準備会)	3,146千円	直江津の魅力の再発掘とアートによる地域活性化を目的に、アーティストと地域住民が協働してアート作品制作を行う。
10	〈直江津の歴史・食・人・文化をつなぎ紡ぐ〉事業 (まちおこし直江津)	1,169千円	直江津の歴史や文化を次世代に継承するため、紙芝居を作成する。また、直江津の歴史的な人物「福永十三郎」の遺徳を偲ぶ四十物祭を行う。

直江津区地域協議会活動報告

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
11	ブルーライト・なおえつプロジェクト事業 (直江津まちづくり活性化協議会)	1,089千円	地域の賑わい創出と、通行者の安全安心を図るため、直江津駅の自由通路にブルーライトのイルミネーションとのぼり旗を設置し、魅力的な空間を作る。
12	三八朝市活性化プロジェクトBASE38事業 (三八朝市周辺まちづくり協議会)	1,688千円	三八朝市周辺を活性化するため、様々な年代の人や団体と連携しプロジェクトチームを立ち上げ、頸城運送倉庫を活用したイベントを開催し住民交流の場を創造する。(都合により中止)

<令和3年度> (配分額:9,700千円)

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
1	クリーンナップ上越in五智事業 (ひまわり會)	486千円	海岸線における環境美化のため、小学校、近隣町内会、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセン、コスモスなどの花苗を植え育て、看板設置、草刈り、清掃などを実施する。
2	五智公園の整備、有効活用支援事業 (五智公園を育てる会)	632千円	五智公園の植物の保護・育成、植物紹介パネルや展望台からのパノラマ写真パネルの展示、ベンチの設置、湿地や林床の整備等を行う。
3	上越市「地域の宝」北前船がはこんだものガイド作成事業 (まちおこし直江津)	303千円	「地域の宝」に認定された「北前船がはこんだもの」のガイドマップを作成し、市内観光拠点等に配置し、まち歩きや地域学習の場等で活用する。
4	「直江津のグランドデザインを描く」事業 (直江津プライド2021)	585千円	直江津のまちづくり計画を作ることを目指し、有志を募ってワークショップを行い、グランドデザインを描き、公開プレゼンテーションで発表するとともに、地域協議会に提言書を提出する。
5	天王川クリーンナップ大作戦事業 (直江津プライド2021)	153千円	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を目的に、直江津の重要な水辺空間である天王川周辺の清掃作業を地域住民全体で行う。
6	「直江津写真フェア」事業 (上越写真連盟)	355千円	「撮って発見 直江津の魅力」をテーマに、直江津の魅力を再発見・発信することを目的として、写真コンテスト、写真愛好者の作品展示を行う。
7	古城小学校閉校記念に伴う記念誌作成事業 (古城小学校閉校記念事業実行委員会)	1,000千円	古城小学校の変遷を記念誌にまとめ、地域の歴史や記憶を後世に継承する。「ふるしろ思い出発表会」を開催し思いを語り合う機会を設ける。

直江津区地域協議会活動報告

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
8	《直江津港から元気発信》事業 (直江津港周辺活性化協議会)	130千円	直江津港周辺の入り口でもある港橋周辺の環境美化のため、地域が一体となって草刈りや清掃活動、菜の花の種まきを行う。
9	海鮮市場事業 (直江津港周辺活性化協議会)	850千円	冬季の直江津港の活性化を図るため、「海鮮市場」を開催する。寒ブリの三枚下ろし実演、上越・佐渡の地域特産品等の販売、地域住民による催し物などを行う。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
10	『なおえつ物語』発信事業 (三八朝市周辺まちづくり協議会)	680千円	これまで作成した紙芝居を小学校や町内会等で上演し、故郷への愛着と誇りを感じてもらう。「越ノ海勇蔵供養塔」の看板・囲いを整備する。
11	福永十三郎顕彰・四十物祭事業 (まちおこし直江津)	680千円	直江津の歴史的な偉人「福永十三郎翁」の遺徳を偲ぶ四十物祭を開催し、自分たちのまちに興味を持ち、まちを考え、次代に継承していく。
12	なおえつ うみまちアート応援 まちあるき事業 (直江津プライド2021)	151千円	「なおえつ うみまちアート」を盛り上げ、市民に解りやすく紹介するとともに、直江津をアートという切り口で紹介する「まちあるきツアー」を実施する。また、作品の回遊とあわせてアートの視点に立ったまちあるきガイドマップを作製し来訪者へ配布する。
13	府中八幡宮の歴史文化財の発信事業 (八幡宮の文化財を愛する会)	173千円	「地域の宝」に認定された「北前船がはこんだもの」の一つである府中八幡宮の笏谷石の鳥居柱を、拝殿回廊の下に移動して台座を製作し、安全に見ることができるようになるとともに説明看板を作成し、歴史的意義と地域への思いを伝える学習会を実施する。
14	直江津地区ひとり親家族緊急支援事業 (おひさまパントリー)	494千円	直江津区のひとり親世帯等が子育てや学業の悩みを語れるような居場所づくりとなることを目的とし、地元生産者やボランティアの協力を得てフードパントリーを開催する。
15	ブルーライト・なおえつプロジェクト2021事業 (直江津まちづくり活性化協議会)	1,000千円	地域の賑わい創出と、通行者の安全安心を図るため、直江津駅の自由通路にブルーライトのイルミネーションを拡張設置するとともに鉄道写真パネルを展示し、魅力的な空間を作る。
16	直江津地区妊娠期応援事業 (ふぁみりり)	78千円	妊娠・出産に不安を抱えている妊婦に、妊娠期におけるアドバイスやディスカッションにあわせ、直江津地区で子育てを支援してくれる企業や団体を紹介する「妊産婦のつどい」を開催する。
17	『恋人の聖地』モニュメント制作事業 (三八朝市周辺まちづくり協議会)	1,471千円	夕日が綺麗に見える船見公園の丘の上にモニュメントを建て、地元への愛着と誇りを感じてもらうとともに、直江津の魅力を広く発信する。デザインは、ワークショップ形式で決定する。(モニュメント制作は都合により中止)

直江津区地域協議会活動報告

<令和4年度>（配分額：9,700千円）

No.	事業名（団体名）	補助採択額	事業内容
1	クリーンナップ上越in五智事業 （ひまわり會）	485千円	海岸線における環境美化のため、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセン、コスモスなどの花苗を植え育て、看板設置、草刈りなどを実施する。
2	五智公園の整備、有効活用支援事業 （五智公園を育てる会）	453千円	五智公園の動植物の保護・育成、動植物紹介パネル展示、リーフレットなどの作成、巣箱やベンチの設置、湿地や林床の整備などを行う。
3	上越市「地域の宝」北前船がはこんだものガイドマップ改訂事業 （まちおこし直江津）	413千円	「地域の宝」に認定された「北前船がはこんだもの」ガイドマップを改訂し、市内観光拠点等に配置し、まち歩きや地域学習の場などで活用する。
4	マタニティー&子育て家族フェス事業 （特定非営利活動法人ふぁみりり）	595千円	妊娠・出産・育児世代を支援する参加型のフェスを開催する。直江津地区で子育てを支援する企業などを紹介し、活性化を図る。
5	「直江津写真フェア」事業 （上越写真連盟）	380千円	「撮って発見 直江津の魅力」をテーマに、直江津の魅力を再発見・発信することを目的として、写真コンテスト、作品展示を行う。
6	なおえつ うみまちアート2022事業 （なおえつ うみまちアート2022実行委員会）	600千円	「なおえつ うみまちアート」を市民主体の取組として継続し、来訪者がまちを巡る中で賑わいを創出する。
7	えちご・くびき野100kmマラソン 直江津おもてなしプロジェクト2022事業 （えちご・くびき野100kmマラソン直江津おもてなしプロジェクト2022実行委員会準備会）	2,156千円	ランナーをおもてなしの心で出迎え、ふれあい・交流を高めていくとともに、直江津の魅力を内外に広く発信する。
8	天王川クリーンナップ大作戦事業 （直江津プライド2021）	175千円	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を目的に、直江津の重要な水辺空間である天王川周辺の清掃を地域住民全体で行う。

直江津区地域協議会活動報告

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
9	直江津水族館ロード(仮称)アート修景整備事業 (直江津プライド2021)	268千円	直江津駅から水族博物館うみがたりまでの裏道散歩コースの天王川にかかっている橋を地元小学生とともにレインボーカラーに着色し、アートによる街の元気を創り出していく。
10	交流と賑わいによる「みなとまちづくり」プロジェクト事業 (直江津港周辺活性化協議会)	1,190千円	直江津港や「海」が持っている潜在的価値や発展性を見直し、地域との連携を図りながら、うみまち親子ふれあいイベントや佐渡寒ブリ祭りを開催する。(うみまち親子ふれあいイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
11	福永十三郎顕彰・四十物祭事業 (まちおこし直江津)	680千円	直江津の歴史的な偉人「福永十三郎翁」の遺徳を偲ぶ四十物祭を開催し、自分たちのまちに興味を持ち、次代に継承していく。
12	「新潟県鉄道発祥の地・直江津」の魅力発信事業 (直江津鉄道振興会)	309千円	直江津が「新潟県鉄道発祥の地」である歴史的事実を広く周知するため、展示販売イベント、講演会を開催し、次世代へ直江津の歴史・伝統や文化を継承する。

<お知らせ>

地域活動支援事業は、令和4年度で終了しました。令和5年度からは、「地域独自の予算」を設け、地域の課題を解決し、地域の活力の向上を図る取組を支援しています。地域の課題解決、地域活性化のため、具体化したい取組がある団体・関心がある方は、北部まちづくりセンターへお気軽にご相談ください。